

防災協定後、担当者間の顔合わせ

支部は、平成30年6月18日(月)1330～1500船橋駅前フェイスペインビル7階会議室において11名により、葛南地域防災備蓄倉庫(市内高瀬町52)から緊急物資の払出し支援協力等を円滑に行うため、県葛南地域振興事務所(同ビル7階の企画係副主査：野田和義氏、玉田裕之氏)との顔合わせを行った。

支部と振興事務所の紹介に始まり、防災倉庫の現状と東日本大地震時に倉庫からの払い出し体験を野田副主査から受けた。「当日は、発災後2日、所員合計6名交代、倉庫には4名で払い出し約半日間、各市町村からの要望に対応する形で支援した。」



玉田氏からは防災備蓄倉庫の現状、県防災備蓄物資貸出要領、備蓄量等の説明を受けた。

これに対し隊友会船橋支部の説明後、小室・豊富分会長河野氏から「まずは備蓄倉庫の標識が道路から見えるよう道路側の草木の伐採が最優先」、同様に高根(台)分会長窪洋之右氏、行田・夏見分会長小倉利之氏からも倉庫ゲート門(東日本地震以来、液状化で盛り上がり通常の乗用車は進入出来ない状態や駐車場の早急の整備が必要)、また事務局長岡本 勉氏から「市内から倉庫へ円滑に進入するためには倉庫前の道路(県道15号線)から直接右折可能な状態にするように改善が必要、倉庫からの払い出しは高齢者の対策のために、重量物を運搬可能なハンドフォーク・リフトの配置が必要等」との活発な意見や、海上自衛隊の艦船の実績・活用等についての提言があった。

更に、岡本事務局長から、訓練の計画や実態(年間2回)について確認、通信連絡方法についての確認と相互の緊急連絡要領、電話番号、メールの交換を行いこれらは支部が協力する上で重要な事項であり、県支部長会議での発言などを

通じ隊友会本部からも千葉県危機管理課などへの提言が重要との認識を持ち終了した。

船橋駅前フェイスビル7階会議室にて会議風景
引き続き場所を同ビル5階「市民活動サポートセンター」に変え、理事役員会を実施し、

- ① 隊友新聞配布の実施
- ② 会員情報交換

前二和・咲が丘分会長：川村福一氏 88歳（警察予備隊入隊）のご冥福をお祈り致しました。

参加者（敬称略）

事務局長	岡本 勉（陸）
北部地区：北部地区常任理事	丸山 光 則（陸）
東部地区常任理事	内田 貞 勝（陸）
小室・豊富分会長	河野 正 信（陸）
二和・三咲分会長	木村 義 忠（海）
坪井・松が丘分会長（兼）	門脇 茂（陸）
高根（台）分会長	窪 洋之右（陸）
同会員（会計担当兼務）	宮嶋 輝 明（陸）
東部地区：薬円台分会長	高橋 満 人（陸）
西部地区：行田・夏見分会長	小倉 利 之（海）
宮本・本町分会長	亀田 秀 治（空）



市民活動サポートセンターにて
（撮影：二和・咲が丘分会長：木村義忠氏）

嗚呼海軍七勇士殉職之碑清掃供養

^{あぶらでり}脂照大汗かいて供養なり

軍歌歌詞海行かばでお経なり



供養開始前の状態

お盆前の8月1日(水)連日朝から猛暑続く、この日も危険日にも関わらず大穴の「嗚呼海軍七勇士殉難之跡碑」周辺の草刈り供養を有志12名で行い、このあと、碑発見者葛西充男氏の入居先(あずみ苑グランド三咲:船橋市三咲7-12-18))を訪れた。

当日は熱中症危険注意報発令、外出も控えなければならないこのような危険日に元気よく?背丈以上伸びた草竹を草刈り機や鎌で刈って供養した。

本当に救急車を呼ぶような事態は避けたいと思いつつの状態でしたが、人生経験豊かな皆さんはバケツで水を被った如く汗をかきながらの供養、無理なことをお願いしたのではと、皆様にはお詫び申し上げます。

ご参加の有志は、福岳五郎相談役(松が丘)、丸山北部理事、内田東部理事、河野小室・豊富分会長、青木副分会長、木村二和・咲が丘分会長、同佐野分会員、窪高根(台)分会長、村山二宮・飯山満分会長、佐藤(正)大穴会員、同久保会員、門脇副支部長 12名(平均年齢 約79歳)でした。石碑は小高い雑木林の崖に近い状態の所にありますが、竹や草の成長が早く、通りかかっても見え難くなり、また、参拝者の安全のためとの思いから、例年は年間2回のところ、5月末とお盆前に参拝する方のために見通しよくしておかなければとのことからこの時期に行ったものです。

また、今回は近隣を通りかかる人たちに PR をと、高根(台)分会、窪分会に横断幕を作成して頂き、知人の吉村さん(毎日新聞元記者)にも飛び入りで参加して頂き、ありがとうございました。

さて、草刈りも終了、水を飲み、恒例の般若心経、続いて車座になり軍歌「戦友」「空の有志」「海行かば」を、「供養」との思いで合唱、11時半無事終了。



次いで碑発見者の葛西氏(北海道生まれ92歳)の入所先(あずみ苑グランデ三咲)に福岳氏、丸山氏、木村氏、門脇で直行、貴重な体験話を拝聴した。

貴重な体験話とは、あの戦艦大和に通信将校として乗船され、生存者の一人であり、帰国後に広島で軍隊勤務中に、原爆投下の爆風を直接受けた生存者でもあります。この貴重な体験は機会を捉え逐次ご紹介したいと思います。

追記：俳句勉強中、笑い飛ばし、ご添削歓迎です。

船橋支部の活動報告：習志野駐屯地夏祭り寄付。

前期支部長会議 7月19日(木)千葉市市民会館。

嗚呼海軍七勇士殉難之碑供養 8月1日(水)9時半~11時。

富士総合火力演習見学 8月23日入隊希望高校3年生4人事務局が引率。